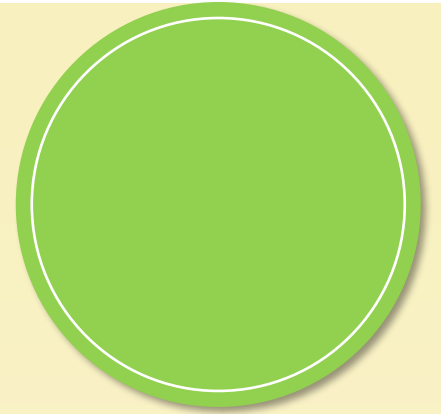




令和4年度 両磐支部会議

令和4年8月25日(木) 18:30~
ZOOMにて開催



○協議事項

◇令和4年度岩手県作業療法士会活動方針について

- ・藤原会長
- ・大久保副会長
- ・高梨副会長
- ・小笠原地域局長 より

◇令和4年度両磐支部体制、活動計画について

○その他、連絡事項

◇第34回岩手県作業療法学会（宮古支部主催）
について

◇支部動向調査について





令和4年度 両磐支部会議

秋の気配を感じ、山々の草木も彩り始めた今日この頃。県士会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

令和4年8月25日に開催されました両磐支部会議（ZOOM開催）には7施設16名の支部会員と県士会からは藤原会長、大久保副会長、高梨副会長、小笠原地域局長も参加いただきました。会長講演では藤原会長より直々に県士会の活動方針や活動計画について説明いただき、会員のキャリアアップや県士会の次世代を担う若い会員への期待、作業療法の質向上と普及活動についてお話しいただきました。活動計画の中の、キャリアアップ計画や研究サポートシステムの立案。領域別研修、情報交換会の企画・運営は若い会員の方々、少ないスタッフや一人職場で悩んでいる会員の為に支部も協力して取り組んで行かなければならないと思われました。

もう一つの協議事項であった令和4年度の支部体制については、新たに若い担当者も数名加わり、心も新たに皆で協力して支部の運営を行っていくつもりです。支部活動計画についてはコロナ禍の中、開催方法に制限が生じる場合もありますが、県士会・地域局の指導、アドバイスをいただきながら支部独自でも会員の皆様が興味を持って参加したくなるような研修会を企画していきたいと思えます（コロナ禍が収まりましたら各地域で開催されている〇〇フェスタに作業療法のブースを開き地域の方々への啓蒙活動や子供たちや学生へのリクルートも）。

コロナ禍で色々な制限はありますが、両磐支部会員の皆様が老若男女問わず昨年度の岩手県主催東北学会のテーマでありました「共育」が出来る支部になればいいなと考えております。

最後に両磐支部（一関市・平泉町）には岩手・宮城・秋田をまたぐ単独峰「栗駒山（岩手県側は須川岳と呼ばれ花の百名山でもある。）」があり、紅葉シーズンには「神の絨毯」と呼ばれる紅葉を体験することが出来ます。また、厳冬期には、晴れ渡った空（栗駒ブルー）とそびえる栗駒山（栗駒ホワイト）とのコントラストも楽しめます。興味のある方は両磐支部までお問い合わせ下さい。

両磐支部支部長

岩渕 祐寿 氏

（県立南光病院）

